

第3号様式(3)

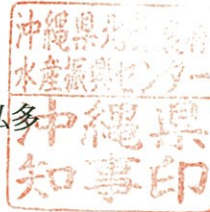
施工体制確認型総合評価方式（特別簡易型・単体発注・事後審査型）

沖縄県農林水産部北部農林水産振興センター農業水産整備課一般競争入札公告第9号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条第1項の規定により、一般競争入札（事後審査型）（以下「入札」という。）を次のとおり実施する。

平成25年7月26日

契約担当者 沖縄県知事 仲井眞 弘



1 工事概要

- (1) 工事名 小浜地区畑地かんがい施設工事
- (2) 工事場所 金武町小浜地区
- (3) 工事内容 畑地かんがい施設工 一式
- (4) 工期 200日間（予定）
- (5) 本工事は、競争参加の審査を入札執行後に行う事後審査型である。
- (6) 本工事は、施工計画等に関する技術資料を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事のうち、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価方式の試行工事である。
- (7) 本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- (8) 本工事は、入札手続き（競争参加資格確認申請書の提出から落札者の決定まで）を電子入札システムで行う電子入札対象工事である。

2 競争参加資格

次に掲げる条件をすべて満たしている有資格業者であること。

- (1) 地方自治法施行令（以下「自治令」という。）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 建設業法に定める特定建設業（又は建設業）の許可を受けている者であって、沖縄県の建設工事入札参加資格審査及び業者選定等に関する規程第5条による平成25・26年度建設工事入札参加資格者名簿（以下「平成25・26年度建設工事入札参加資格者名簿」とい

う。)に土木工事業のA等級として登録されている者(会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、沖縄県が別に定める手続に基づく入札参加資格の再認定を受けていること。)

- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者(上記(2)の再認定を受けた者を除く。)でないこと。
- (4) 建設業法第27条の23に規定する経営事項審査を受けた者であつて、経営事項審査結果通知書が有効期限内にあること。
- (5) 平成15年4月1日から競争参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)及び競争参加確認資料(以下「確認資料」という。)の提出期限日までに、土木一式工事を元請けとして施工し、完成・引渡しが完了した施工実績を有すること。
- (6) 次に掲げる要件を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。なお、配置予定技術者が現在他の工事に従事している場合は、契約締結時点に当該工事に配置できること。
 - ア 資格の詳細について、入札説明書を参照。
 - イ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
 - ウ 配置予定の主任(監理)技術者にあつては、直接的かつ恒常的な雇用関係(申請日以前に3ヶ月以上の雇用)があること。
- (7) 申請書及び確認資料の提出期限の日から落札決定日までの期間に、本県の指名停止措置を受けていないこと。
- (8) 原則として上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

なお、「設計業務の受託者」とは、次ぎに掲げる者である。

 - ・(株)ホープ設計
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。
- (10) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、沖縄県農林水産部発注工事等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。
- (11) 沖縄県北部地区管内(恩納村・金武町以北)に建設業法に基づく本店又は本社が存在

すること。

(12) 入札を全て電子入札システムで行える者であること。

※(8)の「当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者」とは、次のア又はイに該当する者である。

ア 当該受託者の発行済株式総数の100分の50を超える株式を有し、又はその出資の総額の100分の50を超える出資をしている建設業者

イ 建設業者の代表権を有する役員が当該受託者の代表権を有する役員を兼ねている場合における当該建設業者

※(9)の「資本関係又は人的関係」とは、次のアからウに該当する場合である。

ア 資本関係

以下はいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更正会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(ア) 親会社と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合。

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合。

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記ア又はイと同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合。

3. 総合評価に関する事項

(1) 入札の評価に関する基準

総合評価に関する評価項目は、次のとおりとする。

- ・企業の技術力を評価する。
- ・施工体制（品質確保のための体制、施工体制の確保状況）を評価する。

(2) 総合評価の方法

ア 基礎点

競争参加資格が認められた者には、基礎点として100点を与える。

イ 加算点

技術資料の内容に応じて得点を与え、加算点に換算する。なお、加算点の最高点は40点とする。

ウ 施工体制評価点

施工体制に関する資料の内容に応じて、施工体制評価点を与える。なお、施工体制評価点の最高点は30点（品質確保の実効性15点、施工体制確保の確実性15点）とする。

エ 総合評価

価格及び技術資料に係わる総合評価は、予定価格の制限の範囲内で、沖縄県農林水産部低入札価格調査制度要領（以下「低入札調査要領」という。）に基づく失格基準価格（以下「失格基準価格」という。）以上の入札参加者についてア、イ及びウにより得られる基礎点、加算点及び施工体制評価点の合計を、当該入札者の入札価格で除して得た数値（以下「評価値」という。）をもって行う。

(3) ヒアリングの実施（施工体制の審査）

落札候補者のうち、その申込みに係る価格が予定価格の制限の範囲内の価格で入札をした者で低入札調査要領に基づく低入札調査基準価格（以下「低入札調査基準価格」という。）に満たない者（以下「低価格入札者」という。）については、どのように施工体制を構築し、それが入札説明書等に記載された要求要件の実現確実性の向上につながるかを審査するため、原則として開札後速やかにヒアリングを実施する。ただし、当該価格が失格基準価格を下回る場合は、契約の内容に適合した履行が行われないと判断し、ヒアリングを実施せず失格とする。

(4) 落札者の決定方法

開札後、落札者の決定を保留した上で、次のアからウの要件に該当する者のうち、(2)によって算出された評価値の最も高い者（以下、「最高評価値者」という。）から順に低入札基準価格以上で入札を行った者を3者確保できるまでの順位の者を落札候補者とし、競争参加資格の有無確認のため事後審査を行う。

事後審査の結果、最高評価値者が競争参加資格を満たしていることを確認した場合は、最高評価値者を落札者とし、一般競争入札参加資格委員会の審議を経て決定する。また、その結果は全入札参加者に通知する。

なお、事後審査の結果、最高評価者が競争参加資格を満たしていないことを確認した場合や資料の不備等により評価値の減点があり次順位の者と順位が入れ替わった場合は、次順位の者を最高評価値者として事後審査を行う。

また、事後審査の結果、当初選定予定した落札候補者の全員が、競争参加資格を満たしていないことを確認した場合や資料の不備等により評価値の減点があり、当初の落札候補者以外のものが最高評価値者になった場合、当該最高評価値者を落札候補として事後審査を行う。

ア 入札価格が予定価格の制限の範囲内かつ失格基準価格以上であること。

イ 評価値が基礎点を予定価格で除した数値（以下「基準評価値」という。）に対して下回らないこと。

ウ 提出された技術資料及び入札価格に基づき、本工事を確実に実現できること。

4 入札手続等

(1) 入札説明書、設計図書の交付期間、交付方法等

ア 交付期間 平成25年7月26日（金）から

イ 交付方法 沖縄県電子入札ポータルサイト内、入札情報システムからダウンロードして下さい。

【入札情報システム】 <https://www.ep-bis.supercals.jp/ebidPPIPublish/EjPPIj?KikanNO=4700000>

ウ 問い合わせ先 〒905-0015 沖縄県名護市大南1丁目13番11号
沖縄県北部農林水産振興センター 農業水産整備課 土地改良班
電話番号 0980-52-3766

(2) 申請書及び確認資料の提出期間、場所及び方法

本競争の参加希望者は、申請書及び確認資料を提出しなければならない。

なお、期限までに申請書及び確認資料を提出しない者は、本競争に参加することができない。

ア 提出期間：平成25年7月26日（金）から平成25年8月6日（火）まで。
土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで。

イ 提出場所：沖縄県名護市大南1丁目13番11号
沖縄県北部農林水産振興センター 農業水産整備課 農業水利班
電話番号 0980-52-3382

ウ 提出方法：原則として、持参によるものとする。

エ 提出部数：1部

(3) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。なお、郵送又は電報による入札は認めない。

ア 入札日時

入札書提出開始日時：平成25年8月19日（月）9時00分

入札書提出締切日時：平成25年8月19日（月）15時00分

イ 開札日時：平成25年8月20日（火）9時00分電子入札システムにより開札

(4) 資格確認資料の提出と競争参加資格の確認

開札後、発注機関から応募時に提出した申請書及び確認資料の内容を証明する資料（以下「証明資料」という。）の提出を求められた落札候補者は、提出を指示された翌日から起算して2日目の日（休日を除く。）の午後3時までに原則として持参により提出すること。期限までに当該資料を提出しない者は競争参加資格がないものとする。

なお、競争参加資格の審査は、落札候補者のうち最高評価値者から行い、適格者が確認できた時点で、次順位以降の者の審査は行わないものとする。

また、当初選定した落札候補者以外の者の審査の必要が生じた場合は、該当者への証明資料の提出期限は、別途通知する。

ア 提出連絡

開札後平成25年8月22日(木)午後3時(予定)までに落札候補者あて連絡する。(電子入札システムにて通知する。)

イ 提出期限

平成25年8月26日(月)午後3時(予定)までとする。

なお、期限内に限り一度提出した資格確認資料の修正及び再提出を認めるが、提出期限を過ぎた場合は、受け付けない。

ウ 提出場所

沖縄県名護市大南1丁目13番11号

沖縄県北部農林水産振興センター 農業水産整備課 農業水利班

電話番号 0980-52-3382

エ 提出部数

1部

(5) 競争参加資格の確認結果等の通知

平成25年8月29日(木)(予定)までに通知する。(電子システムにて通知)

なお、落札候補者について競争参加資格の有無を審査し適格者であることが確認できた場合は、落札者決定通知をもって資格確認結果の通知に代えるものとする。ただし、競争参加資格がないと認められた場合は、その旨当該候補者へ資格確認結果の通知を行うとともに次順位の者を落札候補者として資格の審査を行う。

また、落札候補者として選定したものの競争参加資格の事後審査を行わなかった者に対しては、未審査通知を行う。

5 その他

(1) 入札保証金及び契約保証金

ア 入札保証金

沖縄県財務規則第100条第2項第4号の定めるところにより免除。

ただし、落札者が契約を結ばない場合は、損害賠償金として見積った契約金額(税込み)の100分の5を県に納付しなければならない。

イ 契約保証金

沖縄県財務規則第101条及び建設工事請負契約書第4条の定めるところにより、契約保証金を納めなければならない。

(2) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

なお、競争参加資格を確認された者であっても、確認後、指名停止措置を受け入札時において指名停止期間中である者は、入札に参加できない。

- (3) 低入札価格調査制度要領に基づく調査の実施
調査を実施する。
- (4) 配置予定監理技術者の確認
落札者決定後、CORINS等により配置予定技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、申請書の差し替えは認められない。
- (5) 低入札調査基準価格を下回った価格をもってする契約について
専任の監理技術者の配置が義務づけられている工事において、低入札調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合には、当該主任（監理）技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求める。
- (6) 経常JVについて
本工事に経常JVとして申請書を提出した場合、その構成員は、単体として申請書を提出することはできない。
- (7) 電子入札について
本案件は、入札を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細及び電子入札に関する事項は、入札説明書及び沖縄県電子入札運用基準による。
- (8) 問い合わせ先
- ア 入札及び契約関係：〒905-0015 沖縄県名護市大南1丁目13番11号
沖縄県北部農林水産振興センター 農業水産整備課 土地改良班
電話番号 0980-52-3766
- イ 応募調書資料関係：〒905-0015 沖縄県名護市大南1丁目13番11号
沖縄県北部農林水産振興センター 農業水産整備課 農業水利班
電話番号 0980-52-3382
- ウ 設計図書関係：〒905-0015 沖縄県名護市大南1丁目13番11号
沖縄県北部農林水産振興センター 農業水産整備課 農業水利班
電話番号 0980-52-3382
- (9) 詳細は入札説明書による。
- (10) 本工事の契約締結後、本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合、変更協議又は関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負費率（元契約額÷元設計額）を変更設計額又は関連工事の設計額に乗じた額で行う。